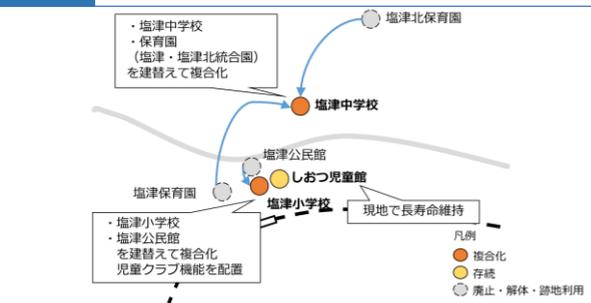


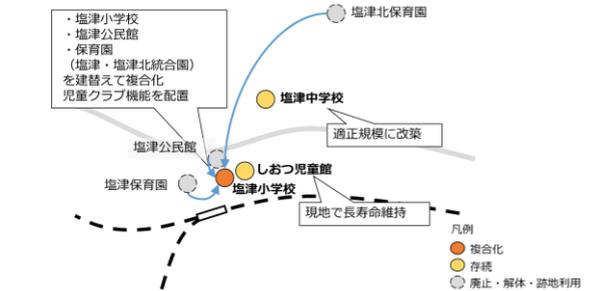
7つの再配置プラン案の絞り込みを行います。

ご意見にもとづく評価結果やワークショップでのさらなる検討を踏まえ、今後7つの再配置プラン案の絞り込みを行っていきます。

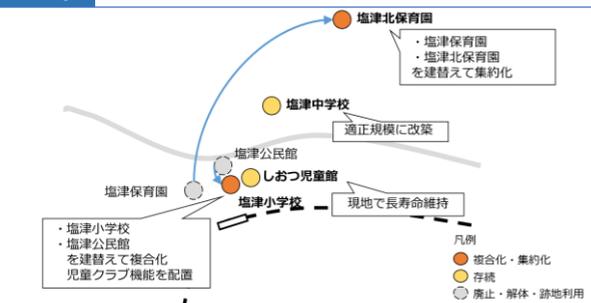
B案 多様な方々の交流の場を複数つくるプラン



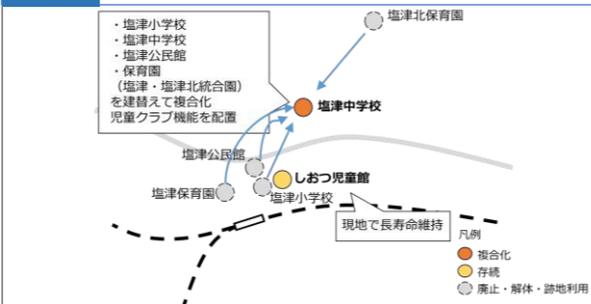
D案 多様な方々の交流と充実した子育ての拠点をつくるプラン



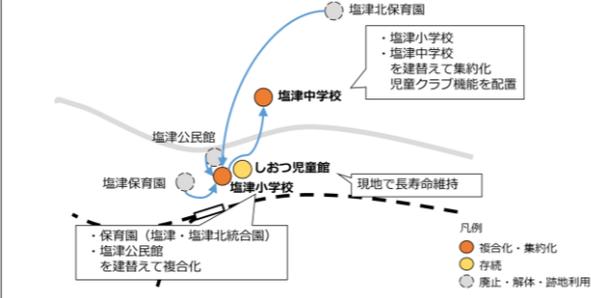
B'案 B案の保育園の位置を変更したプラン



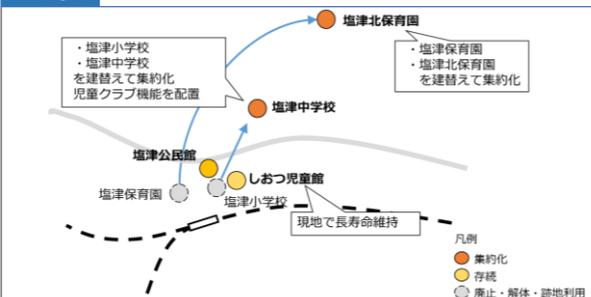
A案 中学校敷地に施設を集中させるプラン



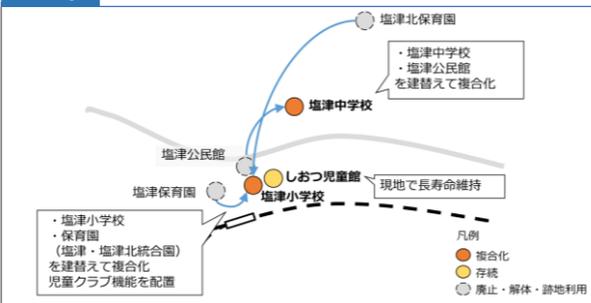
C案 小中の一体化による教育の拠点とアクセスしやすい地域活動の拠点をつくるプラン



E案 同一用途の施設を集約するプラン



D'案 D案の公民館の位置を変更したプラン



ご意見募集

- ワークショップで検討されている内容について
- 塩津地区のまちづくりや公共施設について

右の「お問い合わせ先」まで、メール・ファクス・郵便・持参により、ご意見をお届けください。
差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

お問い合わせ先

蒲郡市総務部財務課 公共施設マネジメント担当
〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
TEL 0533-66-1158/FAX 0533-66-1183
E-mail zaimu@city.gamagori.lg.jp

ワークショップでのご意見や資料等は、市ホームページに掲載しています。
<http://www.city.gamagori.lg.jp/unit/zaimu/machizukuri-kokyohisetsu.html>

塩津地区 かわら版 第4号

塩津地区 まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ

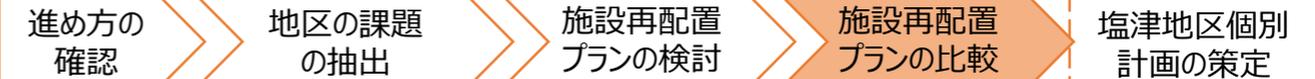
蒲郡市では、今後の人口減少・少子高齢化が進む社会情勢を見据え、公共施設の維持更新費用で将来に大きな負担を残さないため「身の丈にあった」施設保有量に適正化していく取り組みを進めています。

そこで今年度、塩津地区にある公共施設（小学校・中学校・公民館・保育園・児童館）の将来について、地区にお住まいの皆様と協働で考えていく機会として、「塩津地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を開催しています。12月16日(土)に塩津公民館にて開催された第4回ワークショップの内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容等についてのご意見を募集しています。いただいたご意見は、ワークショップの場で示し、検討を進めていきます。（最終ページの「ご意見募集」をご覧ください。）

検討の進め方

蒲郡市は、このワークショップをはじめ、広く地区の皆様からいただいたご意見を反映させた、塩津地区の公共施設の配置や活用方法を示す「地区個別計画」を策定します。下図のように段階的に検討を進めます。第4回ワークショップでは、再配置プラン案を比較するための評価について話し合いました。



オープンハウス(パネル展示型説明会)を開催しました!

11/30・12/1 @しおつ児童館
12/3 @イオン蒲郡店
公共施設の再配置を行う際に重視する項目等についてご意見いただきました。

12/16開催
第4回ワークショップ
再配置プラン案の評価について話し合いました。



2/3開催予定
第5回ワークショップ
これまでのワークショップでの議論を踏まえ、再配置プラン案の絞り込みをします。

第3回ワークショップでのご意見を踏まえて、再配置プラン案を2案追加しました。

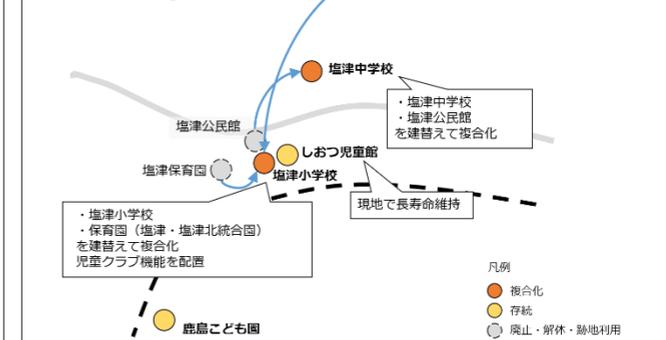
B'案：B案の保育園の位置を変更したプラン
塩津小学校に塩津公民館を複合化します。
塩津・塩津北保育園の機能を塩津北保育園に集約化します。

D'案：D案の公民館の位置を変更したプラン
塩津中学校に塩津公民館を複合化します。
塩津小学校に塩津・塩津北保育園の統合園を複合化します。

B'案



D'案



※全ての再配置プラン案の概要は最終ページに掲載しています。

評価についての検討内容

第4回ワークショップでは再配置プランを比較するため、これまでのご意見をもとに事務局が作成した評価一覧表(案)を用いて検討を行いました。評価項目や評価方法について修正点や配慮すべき点などのご意見をいただきました。(各再配置プラン案の概要は最終ページに掲載しています。)

評価一覧表 (案)

視点	内容	評価項目	A案	B案	C案	D案	E案	B'案	D'案
①地区の活性化 (まちづくり)	・住民のつながりや塩津ならではの特徴に繋がる地区の行事や活動などが一体的に実施できる場となっているか	ア 地区の行事や活動が一体的にできるか。(地区の行事や活動に学校施設が利用しやすいか、学校を巻き込んだ活動をしやすいかで評価)	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
		イ 新たな地区住民同士のつながりが生まれるか。(公民館と他施設との関係性で評価)	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎
		ウ 地区の行事や活動の際に使う駐車場は十分に確保されるか。(公民館の駐車場の確保がしやすくなったかで評価)	△	○	◎	△	◎	○	◎
②子育てしやすい環境づくり	・立地、規模、サービスの面から子育てしやすい環境となっているか。 ・子どもの居場所・遊び場は確保されているか。	エ 低年齢児保育や延長保育の実施など保育サービスが充実しているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		オ 児童クラブの課題(待機児童と2箇所に分散している問題)が解消されているか。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		カ 子どもの送迎がしやすくなっているか。(児童クラブ機能と保育園の位置関係で評価)	◎	○	○	◎	○	○	◎
		キ 学校のグラウンドや体育館を児童生徒が授業や課外活動で円滑に利用できるか。	△	○	△	○	△	○	○
		ク 保育園と小学校が連携しやすいか。	◎	○	○	◎	○	○	◎
		ケ 小学校と中学校が連携しやすいか。	◎	○	◎	○	◎	○	○
		コ 子どもにとっての新たな居場所や遊び場は生まれたか。	◎	◎	○	◎	○	◎	○
③多様な方々(若者・高齢者・障がい者・外国人)が利用できる場の創出	・多様な方々(若者・高齢者・障がい者・外国人など)が関心を持って交流できる場を用意されているか。	サ 公民館が多様な方々にとって利用しやすくなったか。(公民館の周辺人口で評価)	△	○	○	○	○	○	△
		シ 公民館を利用する様々な住民と保育園児の交流がしやすくなったか。(公民館と保育園の関係性で評価)	◎	○	◎	◎	○	○	○
		ス 公民館を利用する様々な住民と小中学生の交流がしやすくなったか。(公民館と学校の関係性で評価)	◎	◎	○	◎	○	◎	◎
		セ 学校での世代間交流が広がったか。(小学校と中学校の関係で評価)	◎	○	◎	○	◎	○	○
④安全の確保	・施設の老朽化への対応は適切にされているか。 ・防犯面に配慮されているか。	ソ 老朽化対策はできているか。(老朽化している建物が減っているかで評価)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		タ 学校の防犯対策はしやすくなったか。	○	○	○	○	○	○	○
		チ 通学・通園の安全は高まるか。(保育園送迎の車と通学する児童生徒、学校や保育園の前面道路について評価)	○	○	◎	○	△	△	○
⑤災害時の対応	・避難所の数・機能・位置は適切か。	ツ 避難所収容人数は充足しているか。	○	○	○	○	○	○	○
		テ 避難所は分散しているか。(避難所の位置と数で評価)	△	○	○	○	○	○	○
		ト 津波浸水区域にある施設数は減っているか。	○	○	○	○	○	○	○
⑥アクセス性への配慮	・各所から通いやすい施設配置となっているか。特に車を持たない方にも配慮されているか。 ・駐車スペースは十分確保されているか。	ナ 施設までの距離の公平性が高まったか。(地区の区域内での施設の位置で評価)	○	○	○	○	○	○	○
		ニ 小学生が徒歩で通学しやすくなったか。(小学校の周辺人口と地形的な立地で評価)	△	○	△	○	△	○	○
		ヌ 保育園に駐車場は十分に確保されるか。(保育園の駐車場の確保がしやすくなったかで評価)	△	◎	◎	△	△	△	○
		ネ 保育園が徒歩で通園しやすくなったか。(保育園の数、周辺人口、地形的な立地で評価)	△	△	○	○	△	△	○
		ノ 公民館は高齢者が徒歩で利用しやすくなったか。(公民館の地形的な立地で評価)	△	○	○	○	○	○	△
ハ 公民館が利便性の高い位置になったか。(公民館の交通便利性の高さで評価)	△	○	○	○	○	○	△		
⑦将来負担(コスト)の縮減	・維持更新費用・運営費用は縮減されているか。 ・跡地は有効に活用されているか。	LCC(ライフサイクルコスト)試算における50年間の縮減額(単位:百万円)	3,876	2,380	3,170	2,380	3,829	2,380	2,380

視点①～⑥については、評価項目ごとに ◎:現状より向上、○:現状維持もしくは一長一短がある、△:現状より低下の3段階で採点しました。視点⑦については、LCC(ライフサイクルコスト)の試算における50年間の縮減額にもとづき評価しました。

以下は、ワークショップでいただいたご意見の抜粋です。

① 地区の活性化(まちづくり)

- ・活性化を人の集まる可能性で評価するのは良いと思う。
- ・【イ】施設を複合化することで「集まる人の数を増やす=つながりを生む」というのは理解できる。
- ・【ウ】公民館は地区全体の取組みに使用されることが多く、車で来ることが多いので、駐車場確保は重要であると思う。
- ・【ウ】駐車スペースは、建物ができた後でもいくらでも確保可能ではないか。
- ・【追加項目】人の集まりやすい場所という観点で、地区の中心にあるのかということも評価項目にならないか。

② 子育てしやすい環境づくり

- ・【キ】十分な授業や部活ができるかについてもっと評価するべきではないか。
- ・【キ】グラウンドや体育館の利用が重ならないよう、小学校と中学校で時間帯を分けるなど運用で対応できるのではないか。
- ・【キ】小学校も中学校も十分な活動ができるように考えると、広いグラウンドや体育館が必要になり、当然コストもかかるだろう。
- ・【ケ】小さい子どもの声が勉強に支障をきたすようなデメリットも懸念される。
- ・【コ】複合化して放課後も小学校の図書館など利用できるのであれば子どもの居場所づくりにつながると思う。
- ・【コ】子どもにとって公民館が遊び場になるだろうか。大人の目の届かないところで遊ぶのは危険だ。
- ・【コ】児童クラブが充実すればよいのではないか。一方で、児童クラブに行きたくない子どももいるので、子どもにとっては必ずしもよいことではないのではないか。

③ 多様な方々の利用できる場の創出

- ・いずれの項目でも交流の場ができるかを見ているが、交流の場ができることは人が集まるための大きな要素だと思う。
- ・【サ】多くの人の居住地から近い位置にあることは、交通システムが発展すれば将来的には重要にならないと思う。
- ・【サ】高齢者や障がい者は徒歩ではなく車で来るのではないか。駐車場の確保の方が大切だと思う。
- ・【サ】公民館は近隣住民が利用する集会所とは機能が異なるので周辺人口の多少は評価としてふさわしくないのではないか。
- ・【ス】小学生が公民館を利用することはほとんどないので、小学校と隣接しているかどうかを評価しても意味がないように思う。

④ 安全の確保

- ・【夕】複合化して人の目が多くなると安全性が高まると思う。
- ・【夕】人が多く出入りすることになると、知らない人も入ってくる可能性があり、一長一短ではないか。
- ・【チ】保育園の立地に関しては、塩津北保育園よりも塩津小学校のほうが周辺の道路事情は良いので安全性は低下しない。
- ・【チ】保育園と学校を同一敷地内にすると、通園通学時に歩行者と自動車と混在して危険になるのではないか。

⑤ 災害時の対応

- ・【ツ】施設を建替えるのだから、評価が「◎」になるように工夫してほしい。
- ・【ツ】施設の場所が高台にあるか、移動が難しい人も発災後すぐ移動できるかという視点も必要ではないか。
- ・【テ】発災直後に一時的に行く避難場所は分散していた方がよいが、避難所は分散していなくてもよいのではないか。

⑥ アクセス性への配慮

- ・学校の駐車場確保については、運動会など年に数回だけのことなので運用面の対策で解決できると思う。
- ・【ナ】距離の公平性という言葉はあいまいで、評価項目として不要ではないか。
- ・【ニ】小学生の通学のしやすさは重要なのもっと評価に重み付けをするべきだと思う。
- ・【ヌ】保育園の駐車場は現状足りていない。統合しても変わらないと思われるため、評価は「△」となっているが現状維持の「○」ではないか。
- ・【ネ】保育園に徒歩で通っている人がいるとは思えないので、評価として入れるべき項目とは思えない。
- ・【ハ】他の地域の人とも呼び込むのであれば駅からの近さも重要だが、地区内の人を対象ならあまり関係がないのではないか。
- ・【追加項目】「交通弱者のために新たな交通手段を用意する必要があるか」という評価項目を追加してはどうか。

⑦ 将来負担(コスト)の縮減

- ・財政のことを考えると、コストを重視するのは仕方がない。無理をして、他にしわ寄せがきても困る。
- ・税金を多く支払ってもかまわないので、コストばかりを重視しないでほしい。
- ・複合化することで、人件費も削減できるのでは。
- ・案の懸念事項への対応コストも計上すべきでは。
- ・塩津地区でコストの下げ幅が小さくても、市全体でコスト削減額が大きくなればよいのではないか。
- ・金額が大きすぎて、数字を出されてもピンとこない。